

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

活動内容として、ESDにおいて本校がこれまで取り組んできた実践に照らし合わせ、「仲間づくり」「平和」「文化の多様性」「基本的人権の尊重」の4つのテーマについて報告します。

- 1 「仲間づくり」では、自尊感情を高め、自分を大切にしようとする態度を養い、他者とのコミュニケーションに積極的に取り組もうとする力を育てることを目標としています。ここでは、2年生・5年生の取り組みを報告します。

〈2年生〉

「みんながえがおになるために～思いを伝え合おう～」

言われてうれしい言葉や、かなしい言葉を書き出す「ハートビーイング」や、絵本「おこる」を用いて、人の気持ちを考える学習を行い、自分の思いを相手に伝えたり、相手の話を聞いたりすることの大切さを感じることができた。その後、互いに分かり合うための良い聞き方・話し方を学び、学習や生活の中に取り入れることで、少しずつ話す態度や聞く態度が良くなってきているように感じる。思いを伝え合うことを大切にしながら、グループあそびなどに取り組んだ。グループあそびの中で出てくる課題についても、グループだけでなく、学級で考えていくようにした。

〈5年生〉

「テレビ局を開設し、情報を発信しよう」

友情・仲間をテーマにしたテレビ番組を自分たちで制作し、四年生に公開することができた。四年生に、「番組を見て、友情の大切さがわかった。」「本物のテレビ番組を見ているみたいだった。」などの感想をもらい、成就感・満足感を得ることができた。また、この活動を通して、友情・仲間の大切さを、自分たちも再確認することができた。

- 2 「平和」では、世界で起きていること、自分たちの身の回りで起きていることに関心を持ち自らの考えをもって、課題の解決に向けて積極的に行動しようとする態度を育てることを目標としています。ここでは、1年生・4年生の取り組みを報告します。

〈1年生〉

「かわいそうなぞう」

「かわいそうなぞう」の絵本を読み、戦争が起きると人や動物の命が奪われてしまうということの悲しさや恐ろしさについて考えることができた。戦争のない平和な世界の大切さについて話し合うことができた。また、戦時中の暮らしや学校の周辺でも空襲の被害があったということを知ることによって、自分たちの住む町が戦争に巻き込まれたということについての理解を深めることができた。

〈4年生〉

「平和について考えよう」

絵本「おきなわ 島の声」やビデオ「対馬丸」を通して、戦争の恐ろしさを知り、また日本も戦争をしていた事実を知ることができた。「戦争はみんなが悲しむ。」「なぜ戦争をするのだろうか。」といった児童からの意見が多く出た。また、世界と日本との関わりを知り、世界中で今も戦争が起こっているという事実を知った。日本からの資源や資金も戦争を起こしている国へと流れていることで、広義では日本も戦争とは無関係とは言えないことから、自分達ができることは何かを考えた。「少しずつでも何か力になれるようなことをやっていきたい。」と児童からの意見が出た。

- 3 「**文化の多様性**」では、世界の様々な文化に興味をもち、人々の暮らしにちがいがあることを知るとともに、ちがいを認め尊重しようとする態度を育てることを目標にしています。ここでは、3年生の取り組みを報告します。

〈3年生〉

「世界の国々の文化を知ろう」

国語科で学習した「木かげにごろり」から、世界の民話にも目を向け、「世界の民話紹介カード」を作成し、友だちと読み合う活動を行った。世界には様々な民話があり、それぞれの民話のおもしろさを感じ、友だちに伝えることができた。また、ソンセンニムとの交流を行い、お正月について学んだり、民族遊び「ユンノリ」を体験したりして、日本の身近にある韓国・朝鮮の文化に触れることができた。さらに「国別BOX」（フィリピン・ガーナ・メキシコ・ブルガリア）を使って、世界の様々な文化を体感することにより、世界の様々な文化の違いに気づき、よさを認めることができた。

- 4 「**基本的人権の尊重**」では、持続可能な社会の実現をめざして、すべての人は等しく大切な存在であるということを理解し、ちがいを認め合いながら豊かな人間関係を育もうとする力を育てることを目標としています。ここでは、6年生の取り組みを報告します。

〈6年生〉

「『人権』てなんだろう？」

社会科で日本国憲法について学習した後、「権利の熱気球」という学習を行った。設定された権利の自分にとっての必要性を考える活動を通して、「人権」はだれにとってもかけがえのないものであるということについて考えた。子どもたちは、やはりすべての権利は大事で、日本国憲法が、自分たちの生活を守る大切なものであるということに気づくことができていた。また日本国憲法のような平和について考えた憲法が世界中に広がってほしいと考えていた。

「水平社宣言」の学習では、弱い立場にあった人々の思いについて考え、その時に立ちあがった人々の力強さを感じることができた。「人権尊重」という考え方が、多くの人々の努力と長い時間をかけてもたらされたものであるという

